

# 千葉県令和元年度台風及び豪雨被災状況

一般社団法人千葉県環境保全センター

## 1、台風及び豪雨の被災状況ほか（千葉県内に限る）

①台風15号(9月9日)②台風19号(10月10日)③集中豪雨(10月25日)

人的被害	死者	12名
	重軽者	110名
物的被害	住宅全壊	318棟
	一部半壊等	59,964棟

停電等を主要因とする停電・断水・通信等の被害は千葉県南部から北東部まで広範囲に及んだ。

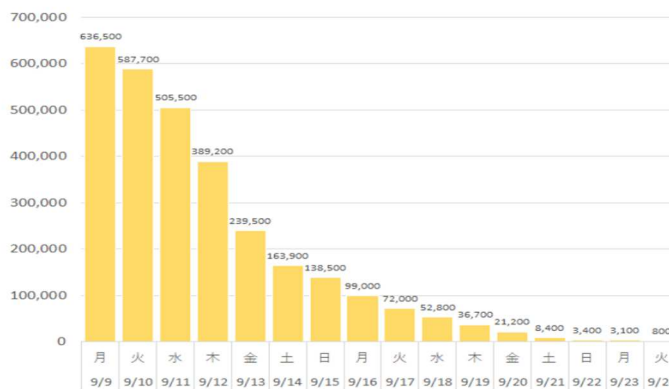
停電の影響で浄水場から送水するポンプが動かず（9月14日時点）約2万4千戸が断水した。また、インターネット回線、固定電話回線、携帯電話回線等の通信障害も発生した。

千葉県では送電線2基、電柱84本が倒壊したほか、多数の電線が損壊しているのが確認され、これを原因とする停電が一時64万戸（9月9日時点）となり、1週間後の（9月16日時点）においても約7万3千戸で停電が続いた。

主要な被害は電柱の倒壊並びに倒木による電線切絶であるが、倒木による道路閉鎖が非常に多く、復旧作業が非常に難航してすべての地区で復旧したのは18日後の9月28日と長期の大規模停電となった。

この停電は県民の生活環境に著しい影響をもたらし、排水処理施設への多大な影響を受けた。

2019年台風15号による千葉県の停電数の推移  
発生9月9日未明～復旧9月24日夜  
（値はそれぞれの日の最大値）レスキューナウまとめ



東京電力発表の値を集計

### 【支援の概要】

支援市	期 間	支援人員	支援台数
南房総市	2019.9.25～11.1	74名	35台
館山市	2019.10.6～11.8	49名	26台
茂原市	2019.11.14～12.14	84名	47台
合 計		207名	108台

## 2、支援内容 ①被災市より支援要請

【南房総市】（9月25日（水）～ 11月1日（金））

期間	支援人員	車種等（車両台数35台）
2019.9.25～11.1	74名	パッカー車 31台 ダンプ車 1台 アームロール車 3台
支援内容	仮置き場より、指定の処分場へ収集運搬	



（石井 裕南房総市長 石井 栄環境保全センター理事長）

（支援活動の終了に合わせて義援金をお渡ししました）

【館山市】（10月6日（日） ～ 11月8日（金））

期間	支援人員	車種等（車両台数26台）
2019.10.6～11.8	49名	パッカー車 3台 ダンプ車16台 ユニック車 4台 平ボディー車 3台
支援内容	自主仮置き場より、本仮置き場へ収集運搬	



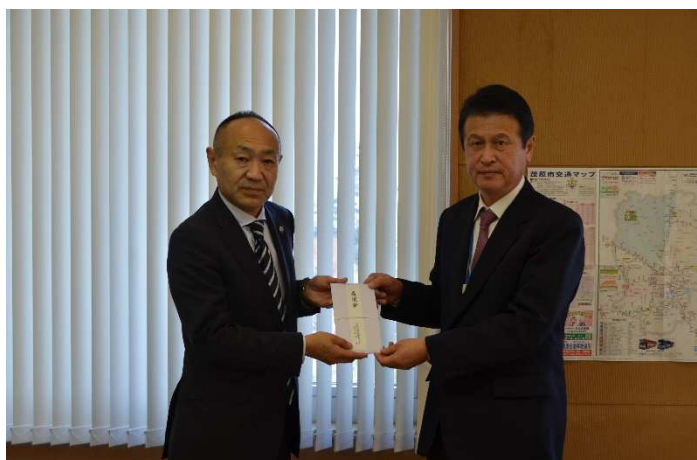
（石井 栄環境保全センター理事長 笠井善幸環境課長）

（支援活動の終了に合わせて義援金をお渡ししました。）

【茂原市】（11月14日（木）～12月14日（土））

期間	支援人員	車種等（車両台数47台）
2019.11.14～12.14	84名	軽トラック 1台 パッカー車22台 ダンプ車14台 アームロール車 4台 平ボディー車 8台
支援内容	自主仮置き場より、本仮置き場へ収集運搬	

支援内容 …… 仮置き場より、指定の処分場へ収集運搬



（石井 栄環境保全センター理事長 田中豊彦茂原市長）  
（支援活動の終了に合わせて義援金をお渡ししました。）

- ② 停電による地元企業への支援要請（ポンプアップほか）  
 農業集落排水施設が停電のため排水できずバキューム車による輸送  
 被災市町村より停電のため中継ポンプ槽などからバキューム車による輸送
- 《千葉県》 農業集落排水施設汚泥の運搬及び  
 マンホールポンプ槽水替作業（9日間・48台）  
 バキューム車大型（10t・7t）×6台  
 バキューム車中型（4t・3t）×42台
- 《市原市》 農業集落排水施設は2か所（9日間）  
 バキューム車10t×3台 4t×10台 3t×5台
- 《長南町》（4日間）延べ14台、122往復  
 初日2台（昼2台）、 2日目5台（昼3台、夜2台）、  
 3日目3台（昼2台、夜1台）4日目4台（昼3台、夜1台）
- 《長柄町》（1日間）夕方から4台で対応
- 《茂原市》（4日間）延べ7台、61往復、  
 初日1台、2日目～4日目まで各2台
- 《香取市》 農業集落排水施設3カ所  
 （4t車×2台）×4日間 9:00～17:00
- 《東金市》 農業集落排水の中継ポンプ 9日（月）～17日（火）  
 約70カ所中35カ所くらい → 3台で対応  
 ポンプ槽（処理槽）の排水  
 山武市 特養 北総長寿苑 2回  
 山武市 特養 緑海会  
 大網白里市 特養 みどりの里 30t



（農業集落排水の輸送の様子）

③-1 その他の被害による被災状況 i

某市消防団器具置場（詰所）の浄化槽周辺の様子（崩れそう）ですが、



（大雨の影響で崩壊した現場・浄化槽が埋没の様子）

2019年6月の点検時に浄化槽周辺で一部土が流れている状況であったので、担当部局の某市消防総務課に上記を説明し、2019年7月に現地調査を行なったが、補修工事については水路の権利者や消防団器具置場の地権者の同意が必要なことと、当組合では土木工事の許認可を有していなかったことから、他社の土木工事補修をお願いしていた。

しかし行政による工事については予算取り等に時間がかかることから、予算が付くよりも先に、台風と豪雨に遭ってしまったという流れです。

### ③-2 その他の被害による被災状況 ii

土砂災害による浄化槽被害について。

お客様宅地の隣地から土砂が流れ込み、浄化槽周辺が埋没してしまったもの。  
(写真では浄化槽がどこにあるのかもわからないほどです)

この土砂崩れでブロワが破損し、また浄化槽内にも土砂が混入したと思われ  
ますが、土砂の撤去についても費用がかかることから保険会社の調査・査定  
を待っているところであった。

調査会社から土砂撤去費用が保険金として出る旨の連絡があり、今後土砂  
撤去と、浄化槽内部調査になる見込み。

